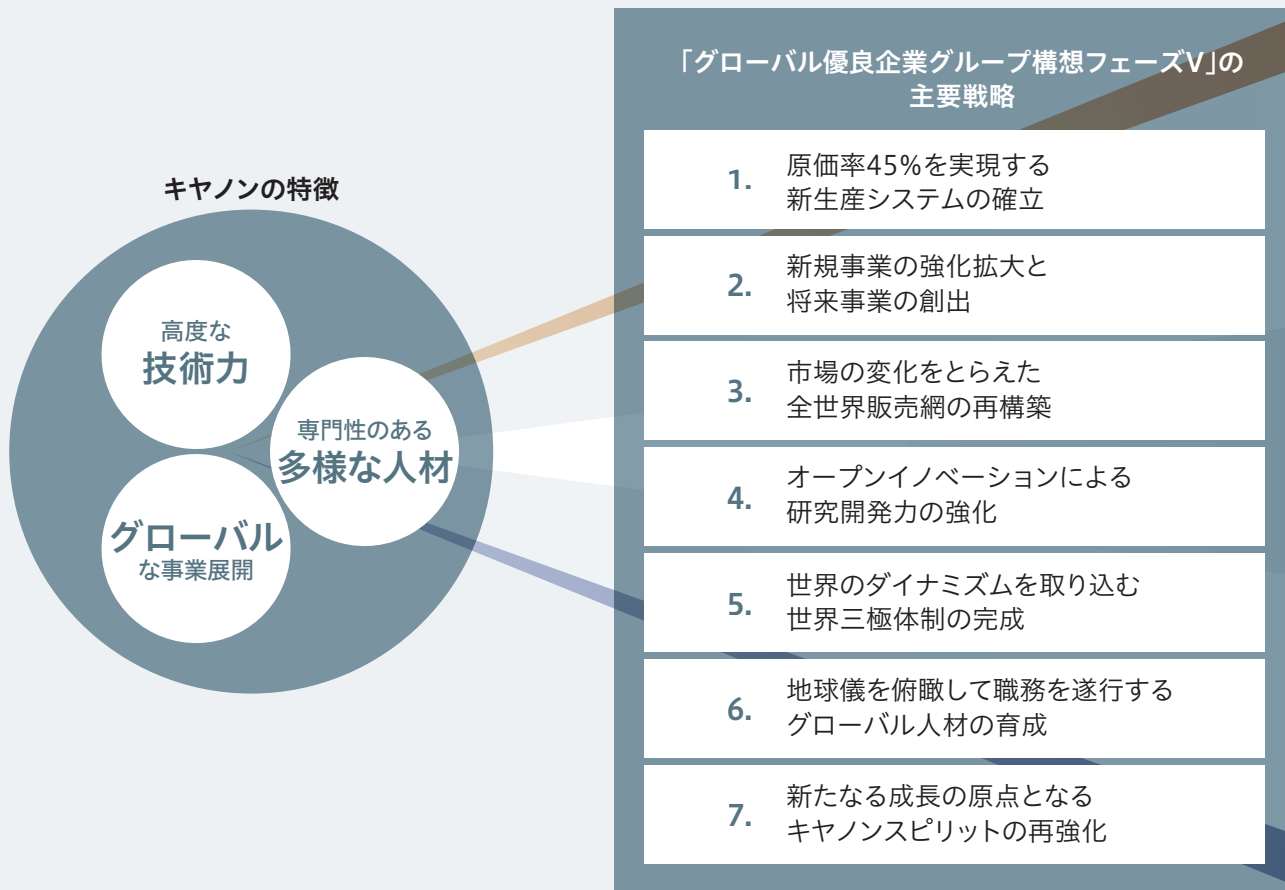


キヤノンの成長戦略とサステナビリティ

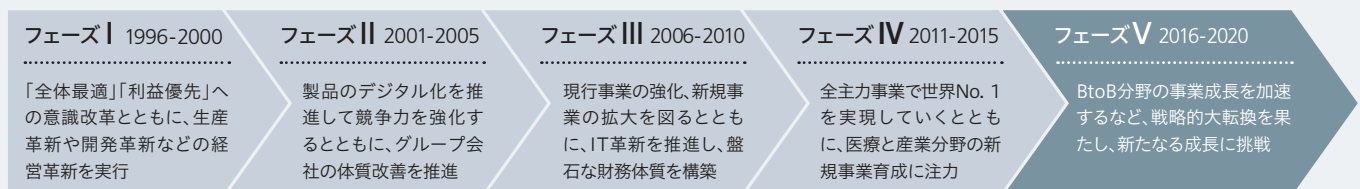
キヤノングループの成長を通じて
国際社会と地球環境のサステナビリティに貢献します。



キヤノンは、グループの中長期的な成長を実現していくために、1996年より中長期経営計画「グローバル優良企業グループ構想」を推進しています。一方で、事業の多角化や国際化を通じて培ってきた「高度な技術力」「グローバルな事業展開」「専門性のある多様な人材」を基盤に、社会や環境のサステナビリティにも貢献してきました。

2016年からは、近年の社会情勢の変化や産業界の潮流を踏まえた成長戦略「グローバル優良企業グループ構想フェーズV」を開始。同時に、この経営戦略を中核に、サステナビリティの側面からキヤノンが取り組むべき2つの包括的なテーマをマテリアリティとして設定し、グローバル社会が抱える課題解決に積極的に取り組んでいます。

グローバル優良企業グループ構想



マテリアリティ

For Society

新たな価値創造、
社会課題の解決

医療、セキュリティ、産業ロボットなど
社会的要請の高い事業の強化・拡大を通じて
国際社会の課題解決に貢献

世界で親しまれ、尊敬される
真のエクセレントカンパニーへ。

マテリアリティ

For the Earth

地球環境の保護・保全

「豊かな生活と地球環境が両立する社会」
をめざして製品ライフサイクル全体で
地球環境への影響を軽減

フェーズVのゴール

2020年

売上高

5兆円以上

原価率

45%以下

営業利益率

15%以上

純利益率

10%以上

株主資本比率

70%以上

1USD=125円、1EUR=135円